



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

平成23年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	180,034	2.4	12,033	△16.3	13,215	△13.4	10,619	11.5
23年3月期第2四半期	175,831	△1.5	14,379	16.0	15,268	△3.1	9,520	△8.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 13,096百万円 (195.1%) 23年3月期第2四半期 4,437百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	96.05	95.85
23年3月期第2四半期	86.03	85.92

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	407,293	285,580	68.6
23年3月期	409,748	277,595	66.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 279,353百万円 23年3月期 271,654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
24年3月期	—	40.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の中間配当金には、「カップヌードル発売40周年記念配当」5円を含んでおります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	5.4	26,000	△24.7	28,000	△23.1	21,000	1.2	190.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	117,463,685 株	23年3月期	117,463,685 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,291,750 株	23年3月期	6,795,554 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	110,562,233 株	23年3月期2Q	110,662,554 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想に関する定性的情報)をご覧ください。

(四半期決算補足説明会資料の入手方法)

第2四半期決算補足説明会資料は、TDnet及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響や電力供給問題、欧州財政問題及び米国経済の停滞に起因する世界不況や円高の影響などにより、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの中核事業である国内の即席めん業界は、震災による新商品の発売延期や販売促進の自粛などの影響がありましたが、夏以降、各社積極的な販売活動が行われ、回復基調となりました。一方、海外では、世界的な小麦粉、パーム油を中心とした原材料価格の高騰が続きました。

このような経営環境の下、当社は、グループの強みである技術力を活かし、多様化する消費者ニーズに対応した商品開発を行うとともに、一層のブランド価値向上に努めました。

当社の第2四半期連結累計期間の売上高は、国内では7月以降積極的な販売促進活動の実施や新商品を発売したことにより、順調に推移しました。また、海外においても堅調に推移した結果、前年同期比2.4%増の1,800億34百万円となりました。

利益面においては、営業利益は、前年に比べ退職給付費用影響額が増加したことにより、前年同期比16.3%減の120億33百万円となりました。また、経常利益は、前年同期比13.4%減の132億15百万円となりました。

当四半期純利益は、厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上したことにより、前年同期比11.5%増の106億19百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成23年3月期	平成24年3月期	対前年同期比	
	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	金額	%
売上高	175,831	180,034	+4,202	+2.4
営業利益	14,379	12,033	△2,345	△16.3
経常利益	15,268	13,215	△2,052	△13.4
四半期純利益	9,520	10,619	+1,099	+11.5

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

#### ①日清食品

当第2四半期累計期間の販売状況は、「チキンラーメン」をはじめとする袋めん類は、第2四半期において前年並みに推移したものの、第1四半期において東日本大震災による一部資材の調達に影響が出たことで売上高が減少したため、前年割れとなりました。

カップめん類においては、発売40周年を迎える「カップヌードル」を始め、「日清のどん兵衛」新「日清ラ王」「日清のかぶと1.5」が堅調に推移するとともに、7月より全国販売を開始した「カップヌードルごはん」が好調な販売となり、売上高増に貢献しました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比2.7%増の895億31百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比2.1%増の83億65百万円となりました。

#### ②明星食品

当第2四半期累計期間の販売状況は、袋めん類は第1四半期に引続き「明星 チャルメラ」シリーズが好調に推移し、特に9月に発売した「明星チャルメラちゃんぽん」は、増収に貢献しました。また本年10月に発売30周年となる「明星 中華三昧」なども好調に推移しました。一方、カップめん類では「明星 一平ちゃん」シリーズが好調に推移しましたが、「評判屋」「でっせ」シリーズ等低価格品の落込みにより、前年を割り込む結果となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比0.3%増の201億88百万円となりました。セグメント利益は、震災の影響による広告宣伝費の抑制等により、前年同期比99.2%増の14億59百万円となりました。

#### ③低温事業

日清食品チルド物の販売状況は、冷しジャンル主力商品の「中華風涼麺」シリーズが堅調に推移するとともに、当社グループ明星食品のロングセラーブランドをチルドめんで再現した「中華三昧 冷し中華」シリーズなどが人気を博しました。

日清食品冷凍物の販売状況は、第1四半期に引続き中価格帯の「冷凍日清スパ王プレミアム」シリーズが主に牽引し、「冷凍日清スパ王シェフズプレミアム」シリーズなど高価格帯商品の消費者の贅沢感を満たすスパゲティ一群も売上高増を後押ししました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比4.6%増の269億77百万円となりましたが、セグメント利益は、積極的な販売施策を行ったこと等による費用増で、前年同期比26.3%減の9億35百万円となりました。

#### ④米州地域

米州地域は、米国において「Top Ramen」や、「Cup Noodles」「Bowl Noodles」が堅調に推移しました。しかし、為替の影響を大きく受けたことにより減収となりました。利益面においては、小麦粉等原材料高騰によるコストアップ等により前年を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比8.9%減の121億88百万円となり、セグメント利益は、対前年同期比8億54百万円減少の1億85百万円の損失となりました。

#### ⑤中国地域

中国地域は、「合味道」「開杯楽」等のカップめんの販売が好調に推移しました。この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は前年同期比2.0%増の93億16百万円となりました。一方、セグメント利益は、原材料価格の高騰や、積極的な販売促進などによるコスト増により、前年同期比47.9%減の3億93百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントについて、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比7.9%増の218億32百万円となり、セグメント利益は前年同期比26.3%増の13億92百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ24億55百万円減少し、4,072億93百万円となりました。これは主に設備投資や投資有価証券の増加により固定資産が50億92百万円増加する一方、売上債権等の減少により流動資産が75億47百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ104億39百万円減少し、1,217億13百万円となりました。これは主に退職給付引当金が65億82百万円減少したこと及び支払債務等の減少等により流動負債が40億67百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ79億84百万円増加し、2,855億80百万円となりました。これは主に利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は68.6%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、自己株式の取得により1株当たり当期純利益は変更しておりますが、その他の業績予想数値は、平成23年5月11日に発表しました通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,651	51,817
受取手形及び売掛金	47,125	42,192
有価証券	16,841	15,750
商品及び製品	6,845	10,405
原材料及び貯蔵品	7,448	8,002
その他	9,460	8,658
貸倒引当金	△246	△247
流動資産合計	144,127	136,579
固定資産		
有形固定資産		
土地	49,542	49,490
その他（純額）	76,339	79,396
有形固定資産合計	125,882	128,886
無形固定資産		
のれん	3,399	3,023
その他	1,065	1,064
無形固定資産合計	4,465	4,088
投資その他の資産		
投資有価証券	115,927	117,829
その他	19,693	20,248
貸倒引当金	△346	△338
投資その他の資産合計	135,274	137,739
固定資産合計	265,621	270,714
資産合計	409,748	407,293
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,422	38,911
短期借入金	1,692	1,567
未払金	19,676	18,121
未払法人税等	7,268	7,353
その他	17,595	17,633
流動負債合計	87,655	83,587
固定負債		
長期借入金	12,980	12,748
退職給付引当金	16,318	9,736
その他	15,199	15,640
固定負債合計	44,498	38,125
負債合計	132,153	121,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	236,831	243,577
自己株式	△20,393	△21,857
株主資本合計	289,976	295,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	791
土地再評価差額金	△7,649	△7,649
為替換算調整勘定	△11,053	△9,046
その他の包括利益累計額合計	△18,322	△15,905
新株予約権	428	661
少数株主持分	5,512	5,566
純資産合計	277,595	285,580
負債純資産合計	409,748	407,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	175,831	180,034
売上原価	95,230	101,668
売上総利益	80,601	78,366
販売費及び一般管理費	66,221	66,332
営業利益	14,379	12,033
営業外収益		
受取利息	501	437
受取配当金	973	896
持分法による投資利益	947	181
その他	244	243
営業外収益合計	2,667	1,758
営業外費用		
支払利息	98	109
為替差損	1,440	326
その他	239	140
営業外費用合計	1,778	576
経常利益	15,268	13,215
特別利益		
固定資産売却益	2	154
投資有価証券売却益	848	—
厚生年金基金代行返上益	—	5,410
その他	95	0
特別利益合計	946	5,565
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産廃棄損	51	85
投資有価証券評価損	325	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67	—
その他	27	—
特別損失合計	470	96
税金等調整前四半期純利益	15,744	18,684
法人税等	6,016	7,950
少数株主損益調整前四半期純利益	9,727	10,734
少数株主利益	206	114
四半期純利益	9,520	10,619



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,727	10,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,572	410
為替換算調整勘定	△1,375	63
持分法適用会社に対する持分相当額	△342	1,888
その他の包括利益合計	△5,290	2,362
四半期包括利益	4,437	13,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,334	13,036
少数株主に係る四半期包括利益	102	59

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	87,167	20,133	25,784	13,385	9,135	155,606	20,225	175,831	—	175,831
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	388	582	236	—	131	1,339	7,338	8,677	△8,677	—
計	87,556	20,715	26,021	13,385	9,267	156,946	27,563	184,509	△8,677	175,831
セグメント利益	8,194	732	1,269	668	755	11,620	1,102	12,723	1,656	14,379

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,656百万円には、退職給付関係費用2,010百万円、のれんの償却額△375百万円、セグメント間取引消去等21百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	89,531	20,188	26,977	12,188	9,316	158,202	21,832	180,034	—	180,034
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	245	525	271	—	43	1,086	8,057	9,143	△9,143	—
計	89,777	20,713	27,249	12,188	9,359	159,288	29,889	189,178	△9,143	180,034
セグメント利益 又は損失 (△)	8,365	1,459	935	△185	393	10,969	1,392	12,362	△328	12,033

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△328百万円には、退職給付関係費用43百万円、のれんの償却額△375百万円、セグメント間取引消去等2百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。